

一人ひとりの人権を大切に

～特設人権相談・啓発活動～

市役所で、人権擁護委員が特設人権相談と啓発活動を行いました。毎年12月4日～10日は人権週間と定められ、全国的に人権啓発活動が展開されています。

委員は、人権相談などを行っている民間の方です。近隣トラブルなど身近な問題や、新型コロナウイルスに関連した、不当な偏見に基づく差別の相談なども受け付けています。一人で悩まず、気軽に相談ください。啓発活動では、啓発グッズなどを配り、人権の大切さを伝えました。
(12、20ページに関連記事)



▲来庁者にパンフレットを配布しました

夢に向かって挑戦する

大切さを学ぶ

～夢☆あこがれ授業～

岩沼西小学校で「夢☆あこがれ授業」が開催され、同校OBでプロサッカー選手の久保剛志さんが、6年生約170人に授業を行いました。

大久保さんは、ご自身の経験を踏まえ、夢を叶えるために諦めないこと、自分を信じることの大切さを話し、児童とリフティング対決を行うなど、交流を深めました。

当日はサッカーワールドカップで日本代表がスペイン代表に歴史的な勝利を収めたこともあり、児童は「日本代表や大久保さんのように、自分も諦めず夢に向かって挑戦したい」と話しました。



▲大久保さんの話真剣に聞き入る児童

たくさん動いて楽しもう

～歩こう！走ろう！楽しもう！いわぬま健康ジョギング・ウォーキングイベント～

総合体育館で、2008年北京オリンピックバドミントン日本代表の小椋久美子さんをゲストに迎え、「歩こう！走ろう！楽しもう！いわぬま健康ジョギング・ウォーキングイベント」が開催されました。

当日は、雨天により急きよ屋内での開催となりましたが、約200人が参加し、ポッチャなどのニュースポーツ体験やスタンプリリー、ヴォスコーレ仙台とのボールゲームなどを楽しみました。

また、お楽しみ抽選会も行われ、当選者には小椋さんから景品の贈呈がありました。



▲ポッチャを体験する参加者と、イベント前にあいさつをする小椋さん

空の世界を学ぶ

～航空大学校出前講座～

岩沼小学校で、6年生92人を対象に航空大学校仙台分校教官の大澤聡氏を講師として、「航空大学校出前講座」が行われました。

今回が初開催となる講座で、児童たちに空港や航空業界についてより一層の興味を持ってもらうことを目的としています。

講座では、飛行機の機体の種類や操縦方法などについて学びました。また、クイズも行われ、児童たちは元氣よく手を上げて答えるなど、終始楽しみながら学んでいる様子が見られました。

児童たちは「とても面白かった。飛行機についてもっと知りたいと思った」と話しました。



▲実際に操縦士が見ている映像を見て学びました

12/10



▲具体的な事例を用いて説明いただきました

市役所で、「岩沼市住まいの終活セミナー」を宮城県司法書士会と共催で開催し、17人が参加しました。市内の空き家件数は増加しており、多くは相続を機に発生しています。不動産をうまく活用し、家族で相続について話し合っきっかけづくりを目的としてセミナーを実施しました。

県司法書士会の司法書士千葉琢也氏を講師に、具体的な事例を用いて、相続についてわかりやすく教えていただきました。

セミナー終了後は、参加者が抱える個別の悩みに対応する無料相談会を実施しました。

参加者は「相続について考える良い機会になった」と話しました。

我が家の未来を考えよう

「住まいの終活セミナー」

12/16



▲市役所と各校をオンラインでつなぎました

市役所、市内小・中学校、ゲスト参加の川崎町立富岡中学校をオンラインでつなぎ、「教育・いじめ防止子どもフォーラム」を開催しました。オンラインによるフォーラム開催は今年で3年目となります。

各校が、あいさつ運動、異学年交流活動、奉仕活動などの特色ある活動やいじめ防止に向けた取り組みを発表しました。子どもたちは、フォーラムを通して多様な考え方に触れ、自校の良さを実感したり、他校の取り組みに感心したりと、これからの学校生活改善に向けた意識を高めていました。

みんなでいじめを防ぐ

「教育・いじめ防止子どもフォーラム」

12/18



▲パネルディスカッションでは写真を使ってわかりやすく状況をお話いただきました

市民会館で、「多文化共生シンポジウム in いわぬま」が開催され、約80人が参加しました。

シンポジウムでは、県内の多文化共生の現状の報告や岩手大学国際教育センター教授の松岡洋子氏の基調講演のほか、市内外国人材受け入れ企業や外国人技能実習生などによるパネルディスカッションが行われ、企業の状況や実習生の考えなどを伺いました。

参加者は「外国人とも人と人との触れ合いがとても大切だと思った」と話しました。

外国人住民とともに 地域づくりを

「多文化共生シンポジウム」

1/8



▲青空の下、迫力ある放水が行われました

市役所駐車場で、「消防出初式」を開催し、消防団、婦人防火クラブ、市防災連絡協議会など約280人が参加しました。

式典に先立ち、竹駒神社で無火災を祈願した後、3年ぶりに式典会場まで街頭行進を行いました。

式典で佐藤市長は「火災や自然災害はいつ起きてもおかしくない。地域防災力を高め、油断せず防災に取り組みたい」と話しました。

消防団員による実地放水が市役所の芝生広場へ向かって行われ、きれいな弧を描き、水しぶきが舞い上がりました。

無火災を祈願して

「令和5年消防出初式」